

2015年2月6日

奈良県・明日香村と協定を締結し、地域振興・社会貢献に繋がる活動を推進していきます

「(一社)飛鳥ケイミュー橘の里」設立と三者協定締結に関するお知らせ

住まいの外まわりを提供する、外装建材メーカーのケイミュー株式会社(本社:大阪市中央区、社長:小森隆)では、このたび「一般社団法人 飛鳥ケイミュー橘の里」を設立し、奈良県明日香村において地域福祉・社会貢献を行なうため参りますので、今回その概要等につきましてご報告させていただきます。



三者による協定締結式の様子

(写真左より、森川裕一 明日香村長、荒井正吾 奈良県知事、小森隆 ケイミュー(株)社長)

2月6日(金)午前、奈良県庁にて「奈良県並びに明日香村とケイミュー株式会社との連携と協力に関する協定締結式」を行ないました。これに先立ち、1月30日には「一般社団法人 飛鳥ケイミュー橘の里」を設立しており、今春より奈良県明日香村にて社会貢献活動を行って参ります。

当社は設立10周年を機に、社員も参画し継続的できる循環型の社会貢献活動を行なうことを検討し、このたび奈良県・明日香村の支援のもと、国営飛鳥歴史公園にある高松塚古墳に隣接する遊休地を活用し、日本古来の柑橘種で明日香村とも関連が深い「橘」の栽培を行って参ります。遊休地は、奈良県及び地元の地権者様からお借ります。

また、橘の栽培を起点に、奈良県・明日香村の地域社会振興の一助として橘の実を使った新たな商品開発や販売という「循環型活動」を目指して参ります。

栽培作業には、ケイミュー株式会社の社員によるボランティアや、障害者のはたらく機会を提供出来るような社会福祉活動を含め取り組んで参ります。

2015年春に橘農園を開園し、まずは苗木100本を植樹し、順次拡大して参ります。これを機に、当社では地域貢献・社会貢献として、この活動を継続的に進めて参ります。

《飛鳥ケイミュー橘の里の概要》

一般社団法人 飛鳥ケイミュー橘の里

設 立 : 2015年1月30日

代表理事 : 小森 隆

事務所所在地 : 大和郡山市筒井町800番地



《今回の社会貢献活動を行なうに至った経緯》

当社は 2009 年に研究開発部門の統合拠点として大和郡山市に「奈良テクノセンター」を開設し、奈良県の第1号企業立地補助金の適用を受けました。以来、奈良県とは産業振興総合センターの協力のもとで、産官連携で技術共同開発の活動や、様々な企業活動の支援への参画なども行っております。

2013年12月には設立10周年を迎え、これを機に次の10年20年及び、それ以降をも見据え、社員も率先して参画し継続できる循環型の社会貢献活動を検討することと致しました。

このような状況下で今回、奈良県の各関係部署のご理解とご指導を得て、奈良県にて地域振興の一端を担う地域・福祉・社会への貢献活動の取組みを行うこととなりました。

明日香村の地で橘を栽培することになったのは、奈良県から紹介頂いた明日香村に我々の取組みについてご理解・ご賛同頂いたこと。加えて当社がこの「橘」と「明日香村」という場所で、当社の「新たに末永く取り組む」という想いが合致したことによるものです。

《橘とは》

「橘」は、古くから日本に自生していた日本古来の柑橘種。爽やかな香りと艶やかな緑の葉を持つ常緑樹である橘は、永遠性と神秘性を併せ持つと言われ不老不死の樹として重用されていました。このことから平安京の紫宸殿の前庭には「右近の橘」が植えられており、これにちなみ雛人形の花飾りに用いられています。

また「文化は永遠である」という昭和天皇のお言葉から、文化勲章は橘の花がモチーフとなっています。

ケイミュー株式会社の会社概要

【本 社】 大阪府中央区城見1丁目2番27号 クリスタルタワー13F

【代 表 者】 代表取締役 社長 小森 隆

【設 立】 2003年12月1日

- ・株式会社クボタ と 旧:松下電工株式会社(現:パナソニック)との住宅外装建材部門統合によりクボタ松下電工外装株式会社として発足。
- ・2010年10月1日にケイミュー株式会社に社名変更。

【社 員 数】 1,836名 (2014年4月1日現在)

【事業内容】 住まいの屋根材・外壁材(窯業系サイディング・金属サイディング)の製造・販売及び、雨といの販売

屋根材(製造・販売)



外壁材(製造・販売)



雨とい(販売)

